

政治学委員会現代政治過程における課題分析・制度設計分科会（第26期・第3回）

出席者：井田 正道・石上 泰州・内山 融・河野 武司・小林 良彰・谷口 尚子・堤英敬・中谷 美穂・西川 伸一

1. 会議名 政治学委員会現代政治過程における課題分析・制度設計分科会（第26期・第3回）

2. 日 時 令和8年8月8日（土）16：45～17：45

3. 会 場 オンライン会議

4. 議 題

（1）令和8年度の活動に関する報告と協議

○西川連携会員より、本年度も明治高校にて主権者教育を行う旨、報告があった。

○谷口会員より、本分科会主催の2つの公開シンポジウムについて報告があった。

・「民主主義と選挙を守る―近年の我が国の政治と選挙環境に関する諸課題」

主催：日本学術会議政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会
共催：文部科学省科学研究費基盤研究(A)「大規模政治意識調査『JESⅧ』による現代民主主義体制の理解・改善・課題解決」

日時：令和8（2026）年8月8日（土）14：00～16：30

場所：オンライン開催

参加：一般参加可、申込180名、うち約100名参加

内容：本シンポジウムは近年の日本の政治や選挙を対象に、制度・選挙事務等に影響される選挙環境、SNSや選挙活動等に影響される情報環境、政党・連立枠組みの変化や解散時期等に影響される政治環境等に関する課題について議論し、今後の改善の方向性を提起した。

次第：

14：00 開会挨拶

河野 武司（日本学術会議連携会員／帝京大学法学部教授）

14：05 報告『『自民一強』は続くのか？―政党システムの流動化が意味するもの―』

内山 融（日本学術会議連携会員／東京大学大学院総合文化研究科教授）

14：30 報告「第51回衆議院議員選挙の分析」

小林 良彰（日本学術会議連携会員／慶應義塾大学名誉教授／九州ルーテル学院大学学事顧問）

14:55 討論・質疑

西川 伸一（日本学術会議連携会員／明治大学政治経済学部専任教授）

15:15 報告「公選法における『投票に関する原則』－現状と今後を考える－」

井田 正道（日本学術会議連携会員／明治大学政治経済学部専任教授）

15:40 報告「現代の選挙における選挙ガバナンスの現状と課題」

堤 英敬（日本学術会議連携会員／香川大学法学部教授）

16:05 討論・質疑

慶 済姫（東海大学政治経済学部准教授）

16:25 閉会挨拶・司会

谷口 尚子（日本学術会議第一部会員／慶應義塾大学法学部教授）

16:30 閉会

・「有権者は変わりつつあるのか－制度の影響と投票行動の把握－」

主催：日本学術会議政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会

共催：文部科学省科学研究費基盤研究(A)「大規模政治意識調査『JESⅧ』による現代民主主義体制の理解・改善・課題解決」

日時：令和8年（2026年）8月11日（火）10:00～12:15

場所・言語：オンライン開催・英語

一般参加可否、申込70名

趣旨：近年の政治・社会・経済環境の変化は、有権者の意識や行動にも大きく影響していると考えられる。都市－非都市部間の人口偏在は、選挙の区割りや「一票の平等性」の問題をより困難にしている。有権者の投票を支えるために、投票制度も多様化している。またこうした環境が有権者の投票行動に与える影響も注目される。そして、有権者への影響等を適切に把握し発信するための社会調査の改善も重要である。本シンポジウムは、これらの課題や今後のあり方について情報を共有する。

次第：

10:00 開会

築山 宏樹（慶應義塾大学法学部教授）

10:05 報告 The Unfairness of Fairness and the Fairness of Unfairness: Beyond the Excessive Pursuit of the "One Person, One Vote" Principle

鎌原 勇太（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授）

10:25 報告 Who Uses Early Voting? A Comparative Study of Japan and Australia

中谷 美穂（日本学術会議連携会員／明治学院大学法学部教授）

10:45 討論・質疑

尾上 成一（慶應義塾大学大学院法学研究科特任助教、東京大学未来ビジョン研究センター特任研究員）

11:05 報告 Does Social Media Use Have a Greater Impact on Voters' Favorites Among Political Leaders Than on Political Parties? The Evaluation of Voters in Recent Japanese Elections

谷口 尚子（日本学術会議第一部会員／慶應義塾大学法学部教授）

11:25 報告 Correcting Nonresponse and Social Desirability Bias in Online Surveys

原田 勝孝（東北大学大学院情報科学研究科准教授）、松林 哲也（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）、小椋 郁馬（一橋大学大学院社会学研究科専任講師）

11:45 討論・質疑

築山 宏樹（慶應義塾大学法学部教授）

12:15 閉会

（2）その他

- ・日本学術会議や政治学委員会の新体制について情報の共有と意見交換を行った。

以上